



Save the Children シンポジウム  
セーブ・ザ・チルドレン

## すべての子どもに体験の機会を

～助成プログラム まなび・体験ファンドの実践から～

2026年3月17日（火）  
14:00～16:00

オンライン無料

自治体における子ども施策の重要性が一層高まるなか、すべての子どもたちに体験の機会を保障することは、多くの自治体にとって対応すべき重要なテーマとなっています。しかし、経済的事情や障害、社会的養護、病氣療養などの理由で体験機会にアクセスできない子どもたちは少なくありません。包摂的な体験環境を整えるには、行政・企業民間団体など、多方面の関係者の連携が欠かせません。

子ども支援の国際NGOであるセーブ・ザ・チルドレンは、体験の機会を得にくい子どもたちにまなびや体験を届ける「まなび・体験ファンド」を通じ、全国各地のNPOを支援してきました。本シンポジウムでは実践事例をふまえ、行政との協働を含むパートナーシップのあり方を考えます。ぜひご参加ください。

### ■プログラム

#### オープニングトーク

子どもの権利の視点で体験を考える（仮題）

青山鉄兵氏（文教大学人間科学部准教授）

青少年の体験に関する研究と実践のご経験から、なぜ子どもに体験保障が必要なのかをお話いただきます



#### 事例紹介

- ① 経済的困難世帯の子どものまなび・体験イベント
- ② 誰もが楽しめるユニバーサルビーチの取り組み
- ③ 多様な状況の子どもの音楽体験

#### ディスカッション・Q&A

より取り残されがちな子どもに、体験を届けるために必要なこと

### ■このシンポジウムで得られること

- ・ 子どもの権利としての体験機会の位置づけ
- ・ 体験から見える子どもの変化と現場の実践知
- ・ 子どもにとって安心・安全な体験にするための取り組み
- ・ NPO、行政、企業との協働に向けた考え方

【問い合わせ先】

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

国内事業部 地域NPO支援事業

Email : japan.cn@savethechildren.org

参加のお申し込みはこちらから➡

<https://form.run/@taiken-sympo>



セーブ・ザ・チルドレンは、子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織です。現在、日本を含む世界約110ヶ国で子ども支援活動を展開しています。日本では、1986年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが設立され、国内外で、行政・地域と連携し、子どもたちとともに活動を行っています。国内では、子どもの貧困問題解決や子どもの権利を社会に広げるための事業のほか、災害時の緊急・復興支援を通して、子どもの権利を保障する活動を行っています。